

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	(株)クロスサービス	事業所名	ほのかのぬくもり
所在地	(〒790-0095) 愛媛県松山市朝生田町7丁目13-28		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ ご利用者、一人一人の今の状況に合わせて支援ができるようにしている。
- ・ どんな状態であっても、相談窓口として機能できるようにまずは相談にのっている。
- ・ ぬくもりという名前にあるように、職員だけではなくご本人・ご家族相互で関係が深まりホッとできるような雰囲気づくりを心掛けている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 <u>2018</u> 年 <u>2</u> 月 <u>27</u> 日	従業者等自己評価 実施人数	(<u>6</u>) 人	※管理者を含む
----------------	---	------------------	----------------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 <u>2017</u> 年 6 月 27 日、8 月 29 日、10 月 31 日、 12 月 19 日 西暦 <u>2018</u> 年 2 月 27 日	出席人数 (合計)	(<u>16</u>) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (<u>7</u> 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (<u>1</u> 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (<u>1</u> 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (<u>2</u> 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (<u>4</u> 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (<u>1</u> 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (<u> </u> 人) <input type="checkbox"/> その他 (<u> </u> 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	・スタッフ一人で判断を行なえるような訓練内容。マニュアルの作成・実行を行ない 夜勤者が訓練に参加できるような体制をつくる。	地震。水害。火災のマニュアルの作成、避難訓練が実行できた。 避難訓練は昼間実行しているため、夜間の想定が把握できなかったが、実際に大雨警報・高齢者避難準備情報が発令された日には近くのだんだんへ19時頃避難できたことで課題もみれた。夜勤者が訓練に参加し一人で判断できるよう消防立会のもと実行(3月2日)	夜間想定で訓練をした事業所があったが、訓練をする職員一人が行うのではなく、他の職員さんも自分事として訓練していく必要があるのではないか。緊張感をもって訓練に参加し職員全員が共有してほしい。勉強会をしてみてもいいのではないか。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・ご利用者の変化に応じて多様なサービス提供(ぬくもりだけでなく)ができるように取り組んでいく。	連泊されていたご利用者を送迎時に訪問介護を取り入れ、一晩自宅でご家族と過ごす事ができるようになり、またそれがご家族の自信につながり、今では週1回帰宅できるようになった。暖かくなったら帰宅回数を増やしたいとのご希望もあり。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・運営推進会議を切り口に参加者を増やせるように医療連携室等にも声をかけまずはぬくもりに来てもらえるように取り組む。ご家族の参加も増えるようにしていく。	医療機関等の働きかけはできなかった。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ご利用者が安心して暮らせる地域がどのようなものなのか、お一人お一人のケースを通して考えていく。考えた事を事例等で発表していく(研修・会議等)	地域での暮らし方がご利用者それぞれではあるが、ぬくもりが基盤となって地域に発信していけるよう取り組んでいきたい。 もったいない市&なんでも相談窓口を開催した
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	・ご家族と関係をつくり、要望等が引き出せるようになる。	送迎時や来所時等で関係をつくり、ご家族とはまずは家族アンケートを H30年度4月から取り組んでいく。	他事業所のアンケート内容を参考にして取り組んでみる。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に関しての避難訓練は定期的を実施しており、実際9月に大雨警報で近くの施設へ避難する事が出来たのは今後の課題もみつきり成果があったのではないかと。避難訓練は継続して取り組んで欲しい。 	<p>災害避難訓練の勉強会を行い、夜間想定で一人での訓練は職員全員で共有していけるよう取り組む。 継続して災害避難訓練の年間計画を行う。</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連泊が続いているご利用者についてご家族とどのように巻き込んでいくのかを検討していく。 	<p>ご家族との話し合い、担当者会議を定期的に行う。 自宅支援ができるよう取り組む。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>ぬくもりと繋がる機関・職種を増やす</p>	<p>他の法人の運営推進会議等に参加していく。 医療連携室へ会議にお誘いのお声かけをしていく。 ご家族にも参加して頂けるよう取り組む。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>地域の拠点・まちづくりへの参加はまだまだ取り組み段階</p>	<p>何でも相談室&もったいない市を継続して開催する。 地域の方達との交流を図る。 地域行事に参加する。</p>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<p>ご本人・ご家族の意見が引き出せるような取り組みを図る。</p>	<p>ご利用者・ご家族とのカンファレンスを継続して行う。 家族アンケートをとり、改善を図る。</p>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			<p>ケアの取り組みが出来た評価が多いが、出来たよりも出来なかった事が大事。 職員間で共有できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	成計画などを作成している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 全ての職員が目標達成評価表を作成し、 目標達成に向け日々心掛けている。 管理者は各職員と振り返りが毎月行える よう取り組んでいるところです。					✓ すべての職員について育成計画な どを作成している場合は「よくで きている」 ✓ 育成計画などを作成していない場 合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機 会を育成計画等に基づいて 確保するなど、職員の専門技 術の向上のための日常業務 以外での機会を確保してい る		○			研修が多いですね。大変です ね。	✓ 「専門技術の向上のための日常業 務以外での機会の確保」について、 充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専 門員の間で、職員が相互に情 報を共有する機会が、確保さ れている	○					✓ 「情報を共有する機会」の充足度 を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケー スについて話し合うための、定期 的なカンファレンスの開催」など が考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○				✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 4月の運営推進会議で得られた助言を、ケアの取り組みに反映させている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			看護師が夜間電話当番と何かあった時訪問できるので夜勤の介護職員も安心ですね。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 介護職員が夜勤の業務において 必ず看護師と連絡とれるよう看護師の電話当番を設けているので 安心して夜勤ができている。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 申し送りノートや各ご利用者のカレンダー、医療度の高いご利用者には バイタル表など全職員が共有している。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○				<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			<p>地域の防災士にも協力をもらって訓練してはどうか。また、地域の方も予定もあるので計画を持って事前をお願いしてはどうか。</p> <p>避難情報は NHK テレビが確かなのでは。</p> <p>水没が60cmを超えると外に出ないほうが良い。この環境だと垂直移動。昨今、想定外の災害がおこっているので多様な想定をしておく。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職種間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
②利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し ✓ 利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<p>[具体的な状況・取組内容] 定期的にご利用者・ご家族の意思を聞き、思いも含めた計画を作成している。また各スタッフが計画を確認できるようにしている。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<p>[具体的な状況・取組内容] 個人差はあるがその利用者に合った計画を作成している。 H29年度の目標にしており、日々取り組み、振り返りも行えている。</p>					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容] 毎月看護計画を見直し、状況変化の予測とリスク管理を踏まえた計画が作成できている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い			
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践								
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映								
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○				✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します	
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 毎月、介護職は経過記録を 看護師は訪問看護報告書計画書を状況変化に応じて作成している。						
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映								
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している			○			✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です	
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 訪問介護が少ない。自宅で支える事を考えると訪問を強化したいと思う。訪問を嫌がる方もおられる。どのように支援したらいいか思案中。				本人が困っている事を聞き出す。関係性は大事なので聞き出せたり言ってくれるような関係づくりを。話を重ねることで考えや意見が変わることもある。 様々な支え方があるサービスだが実状では事業者によっては連泊になったらサービスを断られたと聞いた事がある。ご本人・ご家族にとってなじみのある方に関わり続けてもらう事も大事。		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有								
18	○ 利用者等の状況変化や目標		○				✓ 「利用者等の状況変化や目標の達	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の達成状況等について、主治 医など、事業所内外を含む関 係多職種と情報が共有 されている						成状況等の事業所内外を含む関係 多職種との情報共有」について、 充足度を評価します ✓
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が行 われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活か した役割分担」について、充足度 を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護で は、効果的・効率的なサービス提 供のために、各々の専門性を活か した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこと が重要です
20	○ 利用者等の状況について、介		○				✓ 「介護職と看護職の情報共有およ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	<p>看護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている</p>						<p>「び対応策の検討」について、充足度を評価します</p>
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	<p>○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている</p>		○				<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	<p>○ サービスの趣旨および特徴</p>		○				<p>✓ 「利用者等の理解」について、充</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている						足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 特に見学時・契約時に確認をしながら説明している					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 継続してご本人・ご家族の意向を確認しながら計画を説明している					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○					✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ご本人・ご家族が習得できるまで、通いや訪問看護を使い、一緒におこない、確認している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）	○				家族としては医療をいらないと言ったとしても本人の	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ターミナルを迎えて最期を看取ったが、それまでの過程では様々な意見交換を行った。また、主治医からもカンファレンスをその都度開いていただいた。				姿を見た時に今までの判断とは違う事を考えることも仕方ないと思う。結局は家族の意向が大きく判断に関わるが事業所としてはその判断に寄り添うことが必要ではないか。	
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用者の状態によって、カンファレンスを開催し、今後のご本人・ご家族の意向を確認しながら支援の方針を決めている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療職からご家族へ状態変化の度に病状説明をしている。また、記録にも残し再度ご本人・ご家族へ説明を行い見解に違いがないように取り組んでいる						
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応可能な体制が構築されている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、		○			住民の方が通りがかりに見えやすいようポスターをも	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> かわら版を2ヶ月毎に作成し、地域へポスティングしている。11月から「何でも健康相談窓口&もったいない市」を開催し地域住民との交流がもてた。これを定期的に開催していきたいと思う。				っと大きく目立つようにしたらどうか。	✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療保険・介護保険の訪問看護を実施できている。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることが	○				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	できる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] 積極的に受け入れている。					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 今まで3名の看取りを受け入れた。回数を重ねるごとに、手順や方法を確認している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限	○					✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 可能な限り松山市全域でサービス提供できるようにしている					いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○				✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや		○			その人の環境もあり難しいケースもあるのでは。ご家族も生	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	向上のための具体的な取組 等が行われている	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> かわら版や新聞等で発信を行い取組みに 繋がるようにしている 日中、ご家族が介護できるよう自宅支援に も取り組んでいるが、ご家族の介護力がなく なったら最後は施設入居しかないのかと葛 藤がある。</p>				<p>活があるので出来ないとな ると難しい。看多機の在り方とし て元気になるケースは他のサ ービスにも繋がっていけるが そうではないケースは話し合 いのもと ご本人・ご家族の意 見を尊重して支援しては。</p>	<p>組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高める ことにより、在宅での療養生活を 支えていくための環境を整えてい くなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご本人・ご家族の意見を取り入れながら個別の目標を記録に残し、定期的に見直しをしている 毎月、介護職は個別の経過記録を書き課題をみつけている。看護師は看護計画書・報告書を主治医に提出している。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られ	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	ている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対する安心感が得られている。		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看取りを希望されたご家族、ご利用者が安心して過ごすことができた。今まで3例、看取りがあり3例とも事業所内であった。	看護師がいてくれることが、看多機の強み。ご利用者もご家族も安心されてサービスをうけられると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」